資料３－２

歴史的景観の保全に関する検証事業

京都市歴史的景観の保全に関する検討会

第５回

資料３－２　景観重要建造物等の指定候補の事例（寺院）

■寺院の景観上の特徴

・境内地に「墓地」があるなど神社と比べて緑が少ない
・境内地が公開されていない事例も多い
・景観を構成する要素　門，塀，緑
・寺院が集積している事例も多い
・旗竿状の敷地もある

（事例）

西正寺…… 1
華開院…… 2
随念寺…… 3
宥清寺…… 4
神泉苑…… 5
長円寺…… 6
善徳寺…… 7
瑞雲院…… 8
松陽院…… 9
正定院……10
大中院……11
常光院……12
法住寺……13
月真院……14
良正院……15
入信院……16
得浄明院……17
勝巌院……18
弘誓寺……19
光徳寺……20

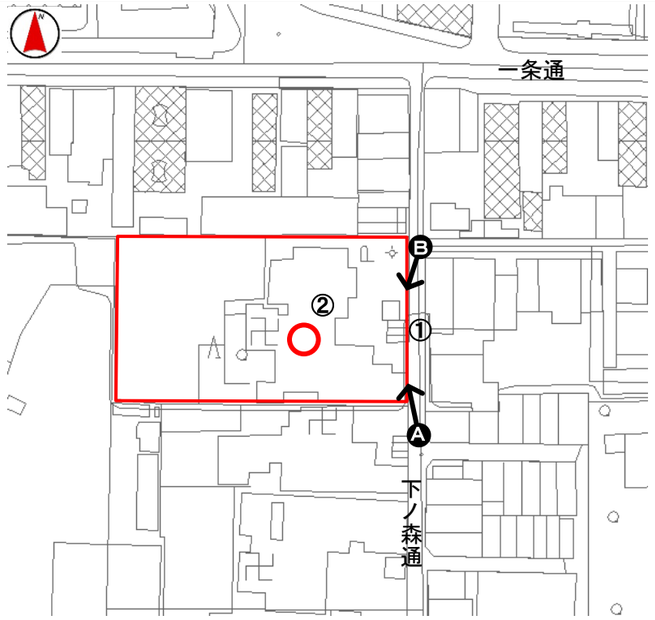
景観重要建造物等の調査票

寺社 No.263（ID. 上 J070）	名称：西正寺（さいしょうじ）	担当者：東	調査日：平成 26 年 9 月 30 日

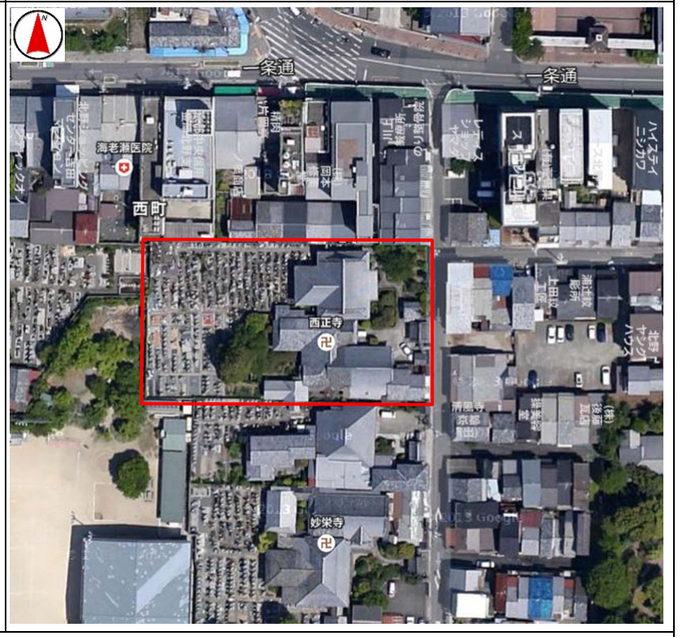
所　在　地	上京区西町 26	
敷 地 面 積	2675.1 ㎡	
現適用制度	用途地域	準工業地域
	防火・準防火	準防火地域
	高度地区	15m 第 3 種高度地区
	景観計画	旧市街地型美観地区
	風致地区	－
系譜，歴史性（謂れ等）	岩屋山西正寺は、高橋紹運の身内である藤内左衛門丞重勝（出家して正順）の開基。岩屋城陥落の前に紹運は重勝に、落城後の戦死者の菩提を弔ってほしいと、仏像その他の宝物を授けた。 重勝は城を出て現在の地に草庵を構え、のちに西正寺と号し、浄土真宗の末寺となった。	

位置図（都市計画図）

平面図（写真撮影位置図）



航空写真



主な建物個々の写真（番号，用途，構造，階数）

①門，木造，１階

②本堂，木造，１階

③

④

⑤

⑥

建物全景写真（近景，遠景（周辺の町並みを含む））

A

B

建物個々で気の付いた点

周辺の町並みとの調和の状況，その他特筆すべき事項等

・寺社が集中するエリア

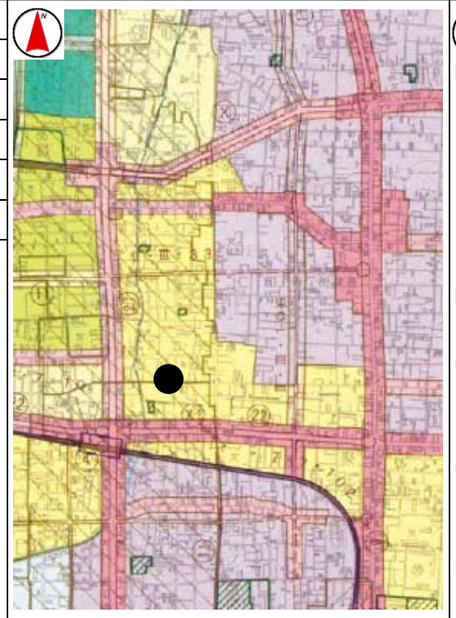
・

景観重要建造物等の調査票

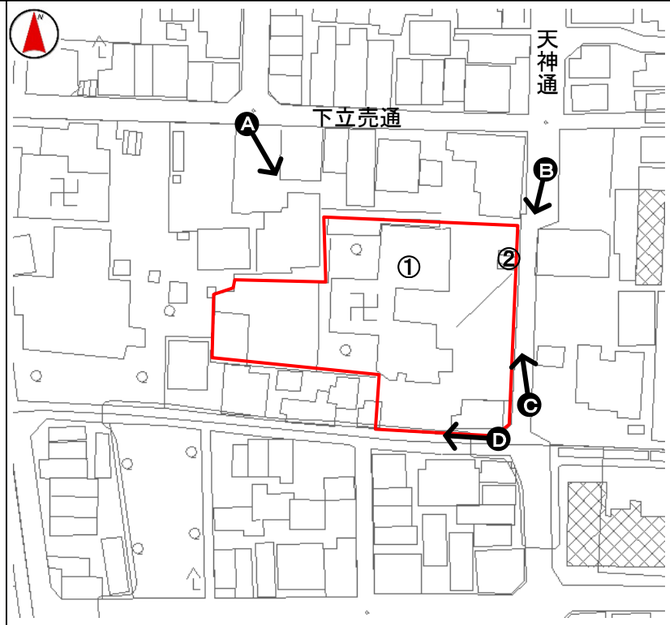
寺社 No.285（ID. 上 J037）	名称：華開院（けかいいん） 通称：五辻御所（いつつじごしょ）	担当者：杉本	調査日：平成 26 年 11 月 14 日

所在地	上京区天神筋下立売下行衛 443	
敷地面積	2487.7 ㎡	
現適用制度	用途地域	第一種住居地域
	防火・準防火	準防火地域
	高度地区	15m 第 2 種高度地区
	景観計画	旧市街地型美観地区
	風致地区	－
系譜，歴史性（謂れ等）	浄土宗。開基は後深草天皇皇子，光岸法達親王とし，後深草天皇の意を受けて創建されたと伝える。当初は安居院大宮（大宮通寺之内下る花開院町・樋ノ口町あたり）の地にあり，守良親王の遷御により五辻御所と呼ばれた。応仁の乱で西軍の陣となり焼失，その後秀吉の都市計画により寺町通今出川上るの地に移り，1668 年（寛文 8）現在地に移転となった。後醍醐・光明・後光厳・村上の 4 天皇の綸旨を賜った勅願寺である。三井寺の僧向阿（のちに浄土宗大本山清浄華院第 5 世）が当院に隠遁して浄土宗に改められた。本尊は阿弥陀如来坐像。慈覚大師円仁の作，大師随身の像であり，坂本の念仏堂に祀られていたものを向阿が迎えたという。この像は東山真如堂の本尊と同木の霊像として伝わる。室町時代には皇室との関係が深く，公家たちの墓が今も移し葬られている。崇賢門院・通陽門院等の陵墓の他，足利義政の妻・日野富子の墓もその中にある。 http://kanko.city.kyoto.lg.jp/detail.php?InforKindCode=1&ManageCode=1000373 より	

位置図（都市計画図）



平面図（写真撮影位置図）



航空写真

主な建物個々の写真（番号，用途，構造，階数）

①本堂　木造 1 階

②山門　木造

③

④

⑤

⑥

建物全景写真（近景，遠景（周辺の町並みを含む））

A

B

C

D

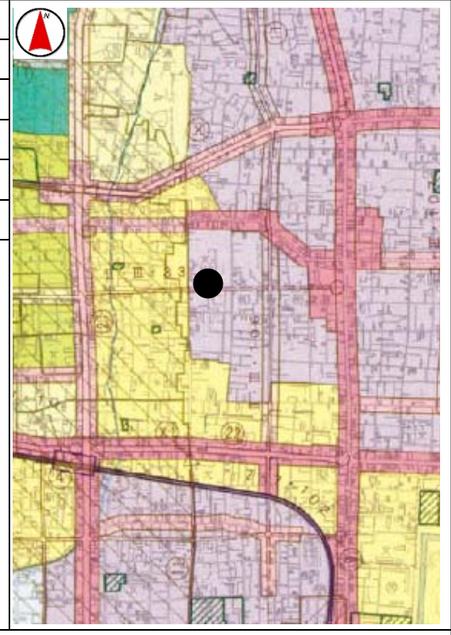
建物個々で気の付いた点	周辺の町並みとの調和の状況，その他特筆すべき事項等
敷地内部の詳細は確認できなかったが，周囲の塀や建物，樹木の管理は良好であった。	・閑静な住宅地内で法輪禅寺に隣接し，両寺の広い敷地が，空間的な広がりを感じさせている。

景観重要建造物等の調査票

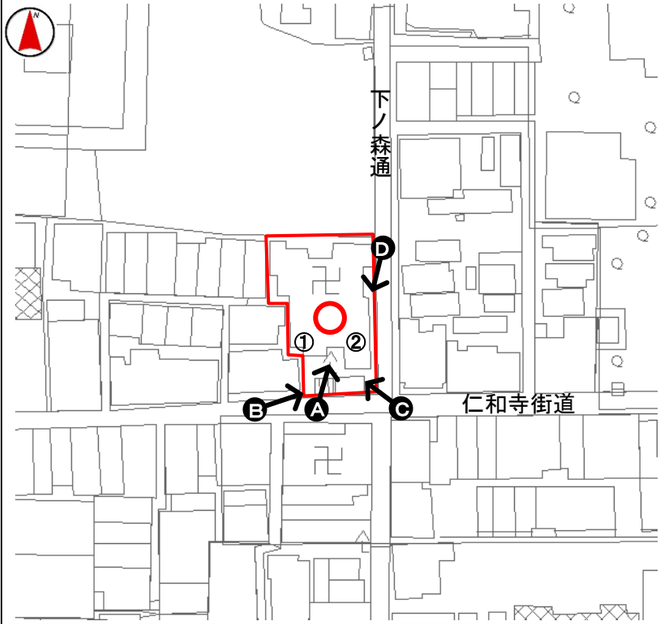
寺社 No.165（ID. 上 J049）	名称：随念寺（ずいねんじ）	担当者：東	調査日：平成 26 年 9 月 30 日

所在地	上京区仁和寺街道御前通東入鳳瑞町 228	
敷地面積	3897.7 ㎡	
現適用制度	用途地域	準工業地域
	防火・準防火	準防火地域
	高度地区	15m 第 3 種高度地区
	景観計画	旧市街地型美観地区
	風致地区	―
系譜，歴史性（謂れ等）	浄土宗の寺院。本尊は阿弥陀如来。	

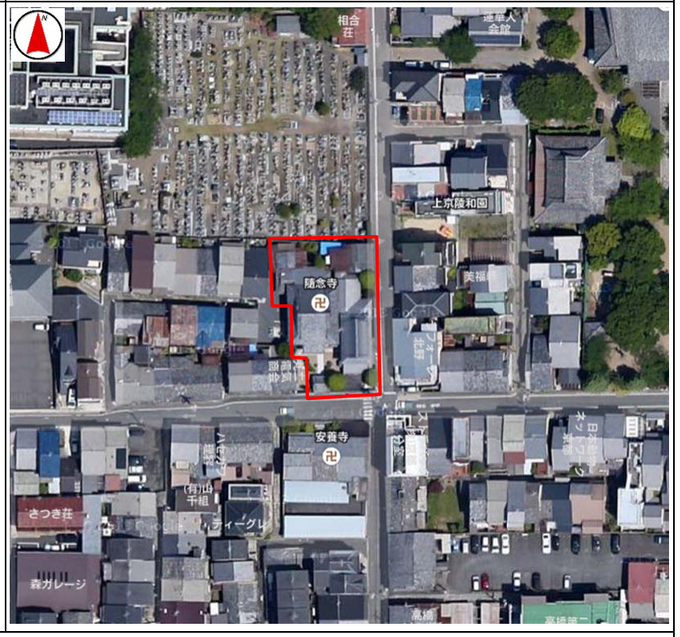
位置図（都市計画図）



平面図（写真撮影位置図）



航空写真



主な建物個々の写真（番号，用途，構造，階数）

①本堂，木造，１階

②住宅，木造，２階

③

④

⑤

⑥

建物全景写真（近景，遠景（周辺の町並みを含む））

A

B

C

D

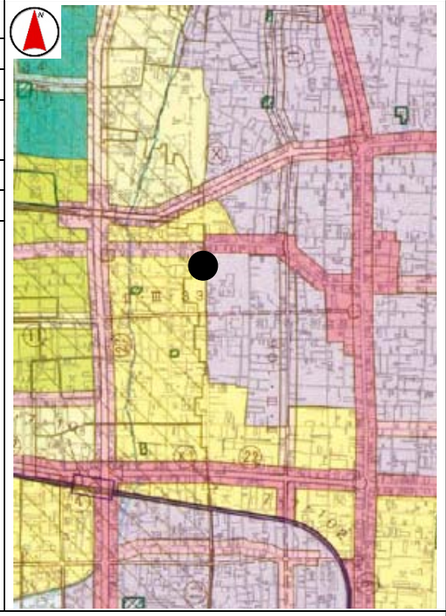
建物個々で気の付いた点	周辺の町並みとの調和の状況，その他特筆すべき事項等
	・周囲には京町家が多く残っている。 ・

景観重要建造物等の調査票

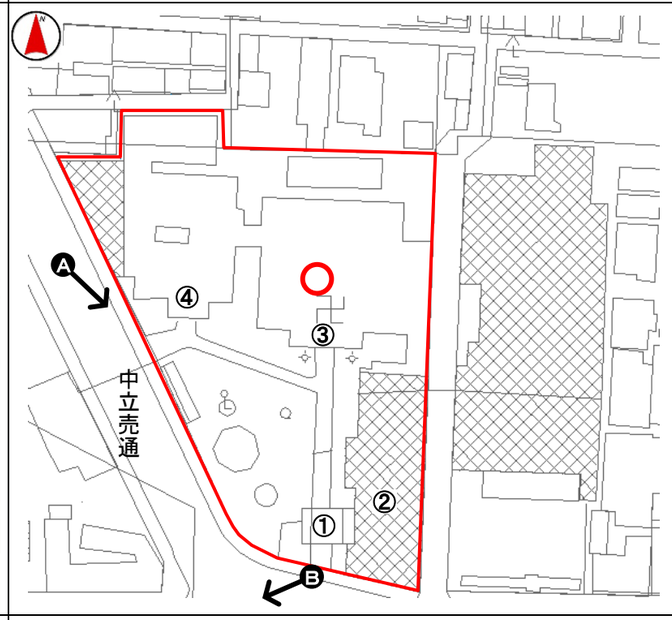
寺社 No.087（ID. 上 J033）	名称：宥清寺（ゆうせいじ）	担当者：東	調査日：平成 26 年 9 月 30 日

所　在　地	上京区一条通七本松西入滝ケ鼻町	
敷地面積	76457.4 ㎡	
現適用制度	用途地域	準工業地域・商業地域
	防火・準防火	準防火地域
	高度地区	15m 第 3 種高度地区 15m 第 4 種高度地区
	景観計画	旧市街地型美観地区
	風致地区	―
系譜，歴史性（謂れ等）	延慶元年（1308）に日蓮聖人の直弟の一人、阿闍梨日弁上人によって開かれ、もと青柳山本門寺と称した、京都における日蓮門下最古のお寺。 その後、所属が転々と移り、元禄七年（1694）青柳山宥清寺となって、妙蓮寺の末寺となった。 昭和 22 年（1947）に法華宗より独立し、宥清寺は本門仏立宗唯一の本山となった。	

位置図（都市計画図）



平面図（写真撮影位置図）



航空写真

主な建物個々の写真（番号，用途，構造，階数）

①山門，木造，１階

②，コンクリート造，４階

③本堂，木造，１階

④寺務所，木造，１階

⑤

⑥

建物全景写真（近景，遠景（周辺の町並みを含む））

A

B

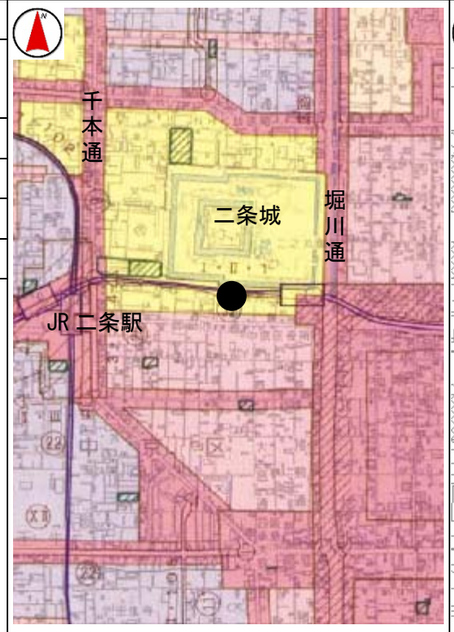
建物個々で気の付いた点	周辺の町並みとの調和の状況，その他特筆すべき事項等
・一部，改修工事中	・商店街沿いに面している。 ・

景観重要建造物等の調査票

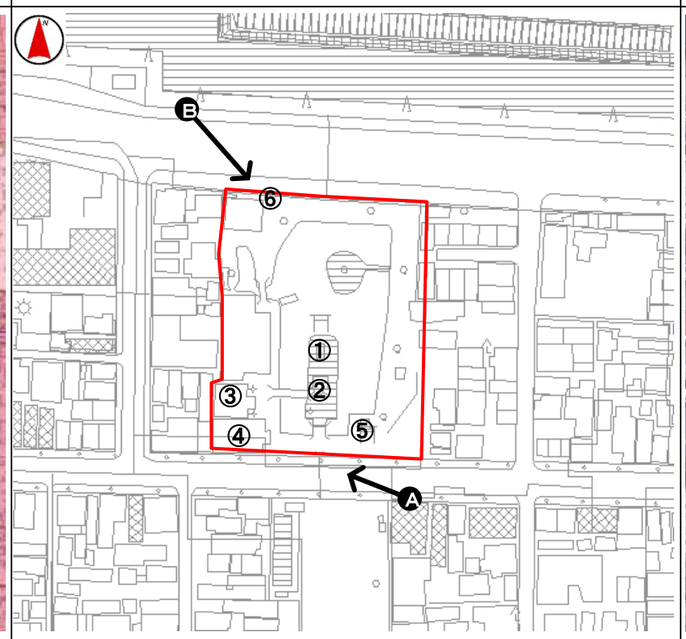
寺社 No.092（ID.中 J002）	名称：神泉苑（しんせんえん）	担当者：辻	調査日：平成 26 年 9 月 10 日

所在地	中京区御池通神泉苑東入門前町 167	
敷地面積	6,256.8 ㎡	
現適用制度	用途地域	第一種住居地域 近隣商業地域
	防火・準防火	準防火地域
	高度地区	15m第２・４種高度地区
	景観計画	歴史遺産型美観地区
	風致地区	－
系譜，歴史性（謂れ等）	平安京（大内裏）の南東隣りに位置し，八町の規模を有する苑池であり，禁苑とされている。東寺真言宗。 国指定史跡。	

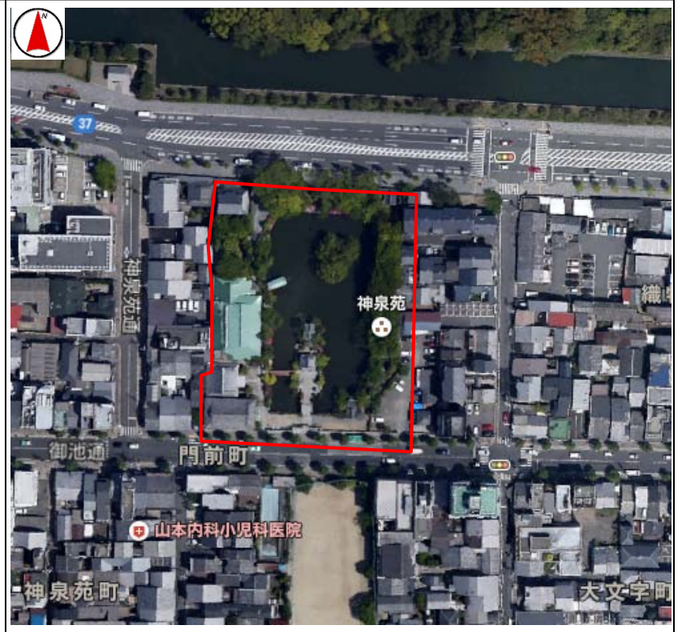
位置図（都市計画図）



平面図（写真撮影位置図）



航空写真



主な建物個々の写真（番号，用途，構造，階数）

①本殿・拝所，木造，１階

②拝殿，木造，１階

③本堂，木造，１階

④方丈，木造，２階

⑤弁天堂，木造，１階

⑥北門，　，１階

建物全景写真（近景，遠景（周辺の町並みを含む））

A

B

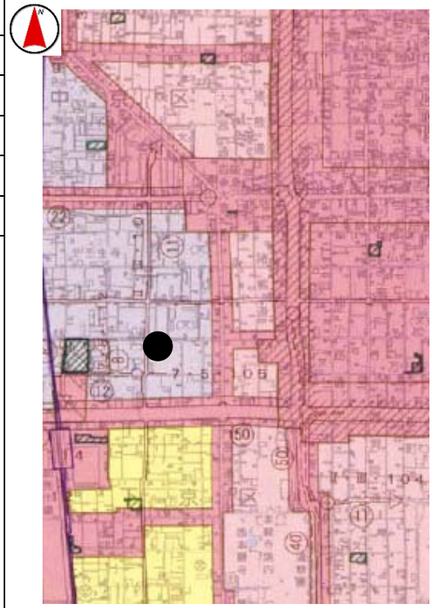
建物個々で気の付いた点	周辺の町並みとの調和の状況，その他特筆すべき事項等
・善女龍王社本殿の修復工事を実施中。	・押小路通と御池通に挟まれる位置に立地。 ・敷地内に平安殿「神泉苑平八」を有する。 ・「善女龍王社本殿修復工事寄進のお願い」の立看板あり（１口 5,000 円）。

景観重要建造物等の調査票

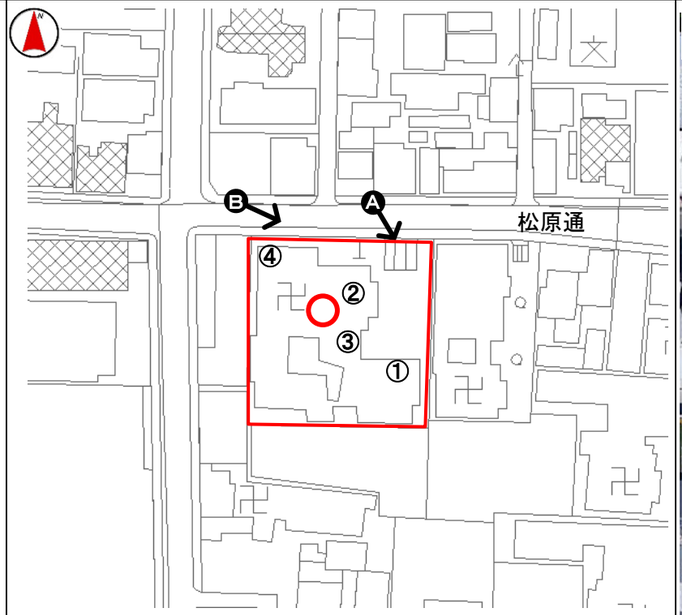
寺社 No.293（ID. 下 J024 ）	名称：長円寺（ちょうえんじ）	担当者：山田	調査日：平成 26 年 12 月８日

所　在　地	下京区中堂寺西寺町 33	
敷地面積	2403.7 ㎡	
現適用制度	用途地域	準工業地域
	防火・準防火	準防火地域
	高度地区	20m 第 3 種高度地区
	景観計画	市街地型美観形成地区
	風致地区	－
系譜，歴史性（謂れ等）	浄土宗 板倉勝重が開基し，大誉清厳を開山として創建した。本尊は阿弥陀如来。洛陽三十三所観音霊場第 24 番札所。観音堂に安置されている聖観音は，平安時代に源信が痘瘡の流行を鎮めるために制作し，霊告により大誉が叡山から現所へ移したと伝えられる。	

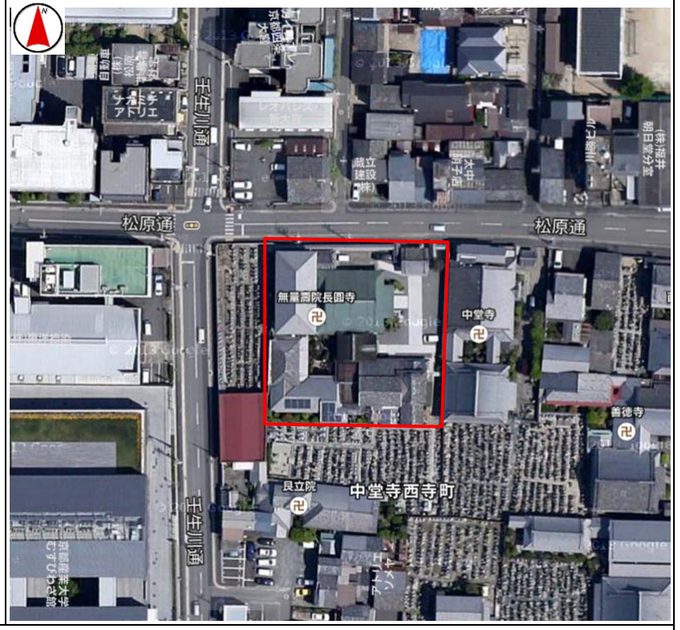
位置図（都市計画図）



平面図（写真撮影位置図）



航空写真



主な建物個々の写真（番号，用途，構造，階数）

①庫裏，木造，２階

②本堂，木造，１階

③拝殿，木造，１階

④住宅，木造，２階

⑤

⑥

建物全景写真（近景，遠景（周辺の町並みを含む））

A

B

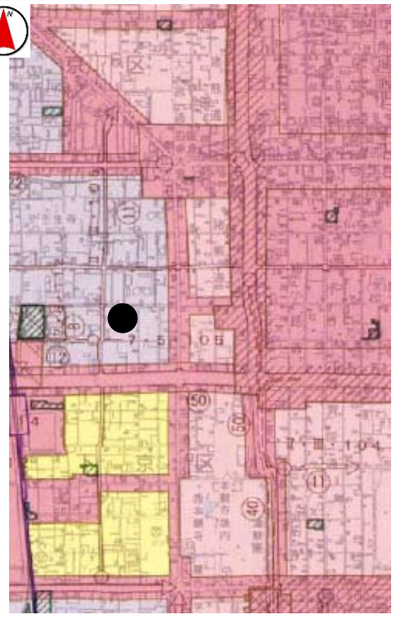
建物個々で気の付いた点	周辺の町並みとの調和の状況，その他特筆すべき事項等
・本堂、拝殿が屋根瓦ではなく、建物，庭木は、きれいに管理されている。	・周囲の街並みに調和し，寺院の幽玄さを示している。 ・壁の白色部分が風化により剥げている。

景観重要建造物等の調査票

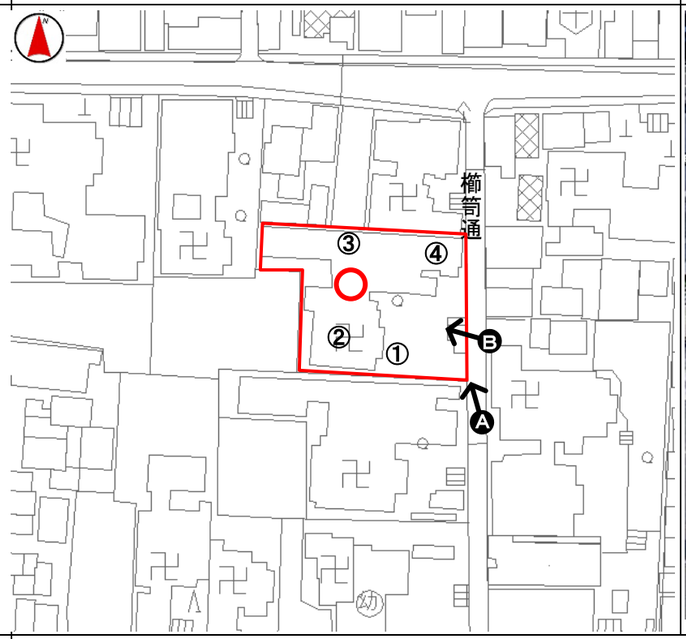
寺社 No.365（ID. 下 J029 ）	名称：善徳寺（ぜんとくじ）	担当者：山田	調査日：平成 26 年 12 月 8 日

所　在　地	下京区中堂寺西寺町 13	
敷地面積	1839.5 ㎡	
現適用制度	用途地域	準工業地域
	防火・準防火	準防火地域
	高度地区	20m 第 3 種高度地区
	景観計画	市街地型美観形成地区
	風致地区	－
系譜，歴史性（謂れ等）	善徳寺は西山浄土宗に属する寺院で，本尊の阿弥陀如来像は室町時代の僧恵心僧都の作と伝えられている。善徳寺といえば赤壁ですが，これは、江戸時代に紅屋を営んで成功した檀家の木村平兵衛という人物が，寄進した山門の土壁を京紅で塗ったことに由来している。	

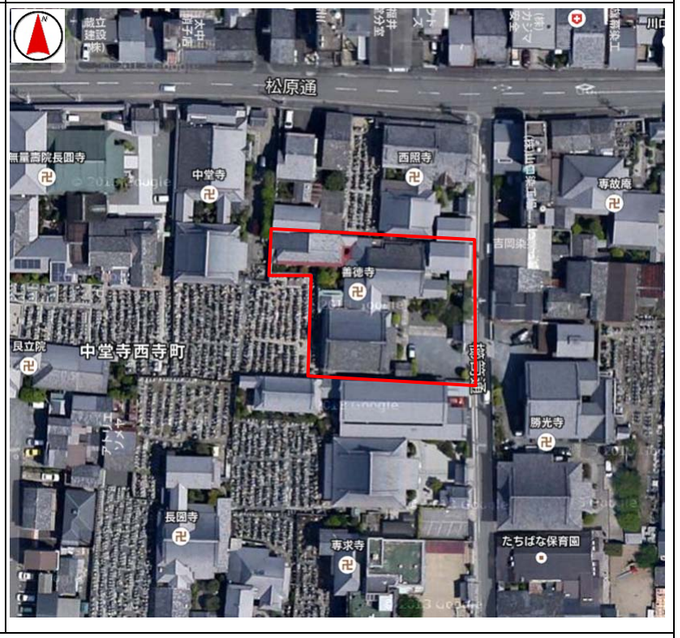
位置図（都市計画図）



平面図（写真撮影位置図）



航空写真



主な建物個々の写真（番号，用途，構造，階数）

①本堂，木造，１階

②手水舎，木造，１階

③庫裏，木造，２階

④住宅，木造，２階

⑤

⑥

建物全景写真（近景，遠景（周辺の町並みを含む））

A

B

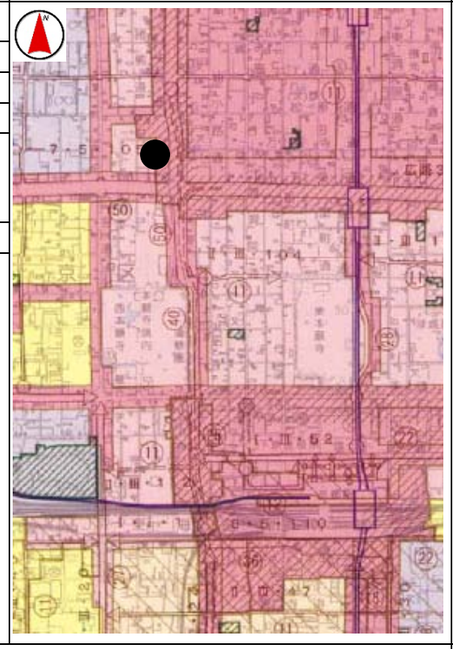
建物個々で気の付いた点	周辺の町並みとの調和の状況，その他特筆すべき事項等
・建物，樹木は，きれいに管理されている。	・赤色（朱系）に塗られた土塀の景観が，周囲に鮮やかさ，幽玄さを示す。 ・敷地内の空間的なゆとりは，あまり感じない。

景観重要建造物等の調査票

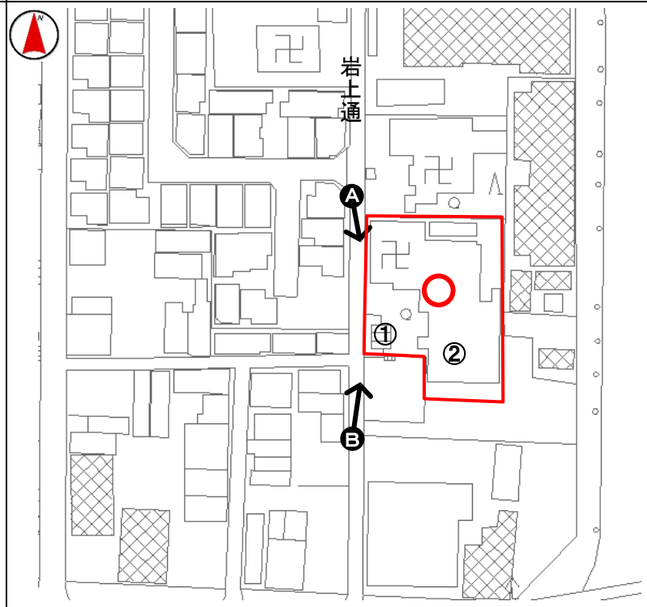
寺社 No.163（ID. 下 J008 ）	名称：瑞雲院（ずいうんいん）	担当者：山田	調査日：平成 26 年 12 月８日

所　在　地	下京区岩上通五条上る柿本町 682	
敷地面積	4049.8　㎡	
現適用制度	用途地域	商業地域
	防火・準防火	準防火地域
	高度地区	31m 高度地区
	景観計画	沿道型美観地区（都心部幹線地区） 市街地型美観形成地区
	風致地区	―
系譜，歴史性（謂れ等）	日蓮宗 1602 年（慶長 7）日求が小早川秀秋（1582～1602）の菩提を弔うため，玉陽院を改めて開創したと伝わる。秀秋の祭祀料として徳川家康が寺領 100 万石を与えたのに因み，百石寺とも称する。また、豊臣秀吉の姉日秀尼が，安土城内の秀頼旧邸を移し方丈とし、秀秋追善のために建立。100 石を施入したとする設もある。 http://kanko.city.kyoto.lg.jp/top.php　参照	

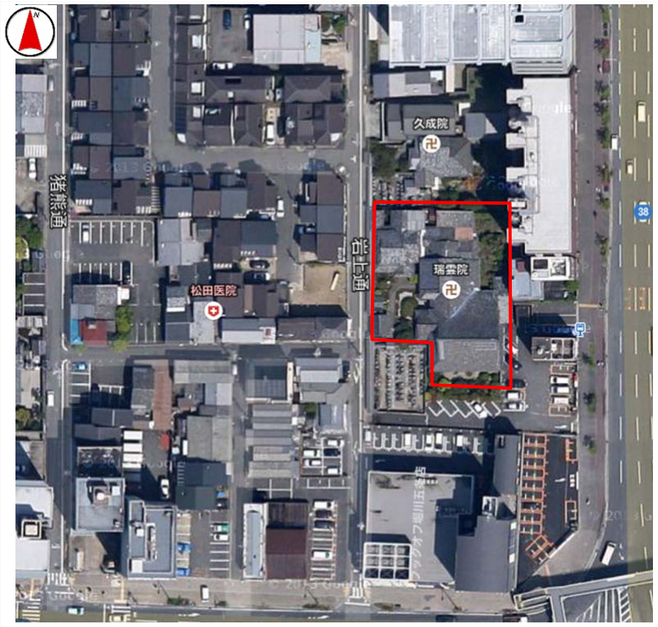
位置図（都市計画図）



平面図（写真撮影位置図）



航空写真



主な建物個々の写真（番号，用途，構造，階数）

①表門，木造，１階

②本堂，木造，１階

③

④

⑤

⑥

建物全景写真（近景，遠景（周辺の町並みを含む））

A

B

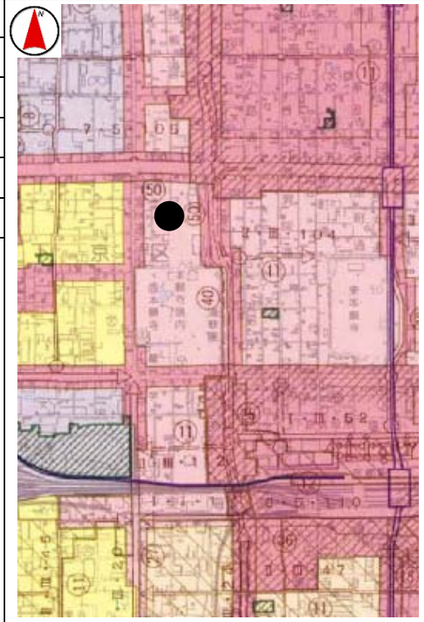
建物個々で気の付いた点	周辺の町並みとの調和の状況，その他特筆すべき事項等
・土塀以外の山門，塀瓦，敷地内建物，樹木は，きれいに管理されている。	・敷地内では，空間的なゆとりも感じられ，庭木等の緑も多い。 ・岩上通沿いの土塀について，損傷等が見られる。

景観重要建造物等の調査票

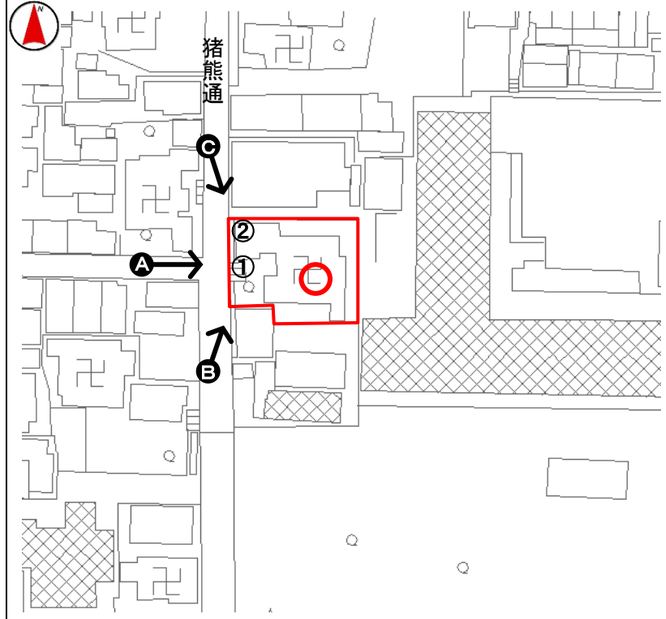
寺社 No.507（ID. 下 J039 ）	名称：松陽院（しょうよういん）	担当者：山田	調査日：平成 26 年 12 月８日

所　在　地	下京区猪熊五条下	
敷 地 面 積	932.5 ㎡	
現適用制度	用途地域	近隣商業地域
	防火・準防火	準防火地域
	高度地区	20m 第３種高度地区
	景観計画	市街地型美観形成地区
	風致地区	―
系譜，歴史性（謂れ等）	日蓮宗	

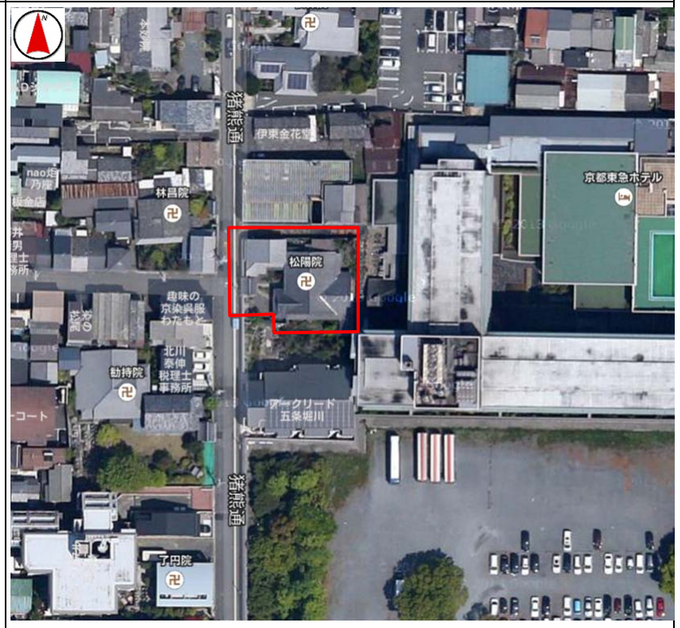
位置図（都市計画図）



平面図（写真撮影位置図）



航空写真



主な建物個々の写真（番号，用途，構造，階数）

①表門・庫裏，木造，１階

②住宅，木造，２階

③

④

⑤

⑥

建物全景写真（近景，遠景（周辺の町並みを含む））

A

B

C

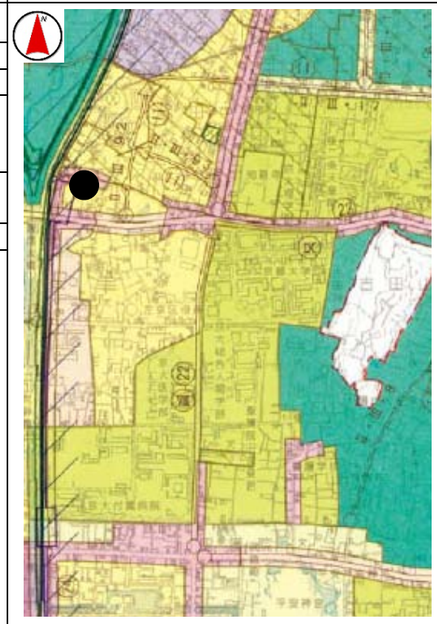
建物個々で気の付いた点	周辺の町並みとの調和の状況，その他特筆すべき事項等
・建物，塀，敷地内樹木は，きれいに管理されている。	・建物、塀等の修復を近年実施した模様であり，猪熊通沿いにある塀の前のガードパイプ以外は、特に違和感として感じない。

景観重要建造物等の調査票

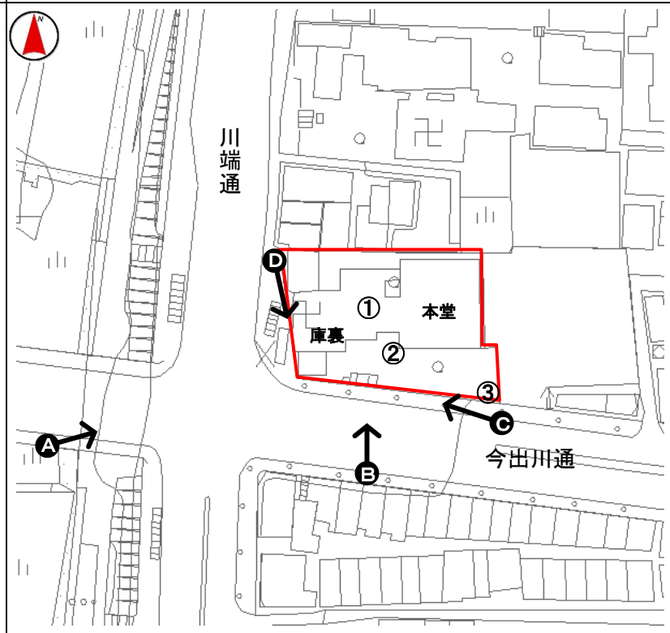
寺社 No.266（ID. 左 J047）	名称：正定院（しょうじょういん）	担当者：杉本	調査日：平成 26 年 12 月 9 日

所　在　地	左京区田中下柳町 30	
敷地面積	2639.1 ㎡	
現適用制度	用途地域	近隣商業地域
	防火・準防火	準防火地域
	高度地区	15m 第 4 種高度地区 15m 第 2 種高度地区 12m 第 3 種高度地区
	景観計画	沿道型美観形成地区(幹線地区) 山並み背景型美観地区
	風致地区	風致地区第 4 種地域
系譜，歴史性（謂れ等）	正定院（しょうじょういん）は，賀茂大橋の東，今出川通に南面してある。山号は竹谷山という。萩の寺として知られている。 浄土宗，本尊は阿弥陀如来。 江戸時代，1610 年，唱誉により創建されたという。1693 年，現在地に移転した。 近代，昭和期初頭，1931 年？，今出川拡幅工事に伴い，伽藍を改修した。 江戸時代の絵師・曾我蕭白，江戸時代の箏曲家･幾山検校の墓がある。 http://everkyoto.web.fc2.com/report1362.html　より	

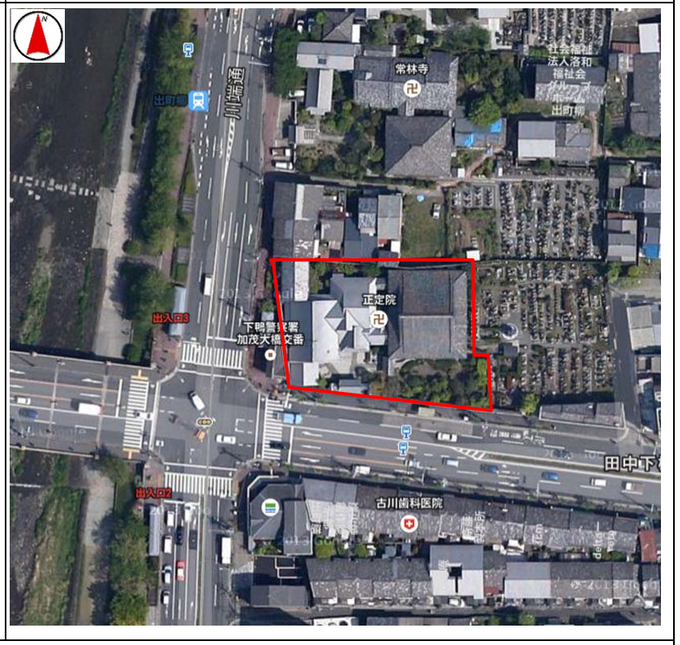
位置図（都市計画図）



平面図（写真撮影位置図）



航空写真



主な建物個々の写真（番号，用途，構造，階数）

①山門，本堂入口 木造 1 階

②子育地蔵尊（本堂前）

③地蔵堂

④

⑤

⑥

建物全景写真（近景，遠景（周辺の町並みを含む））

A

B

C

D

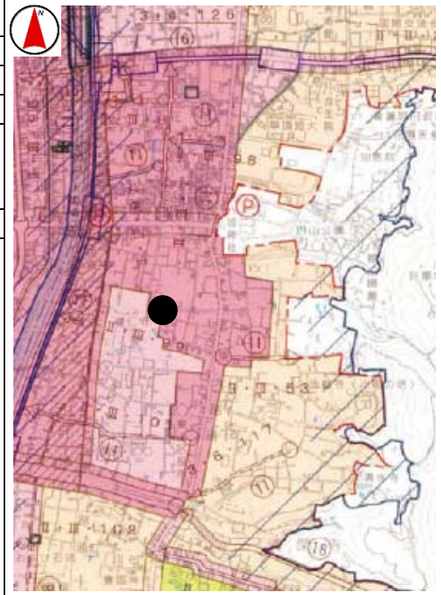
建物個々で気の付いた点	周辺の町並みとの調和の状況，その他特筆すべき事項等
敷地内の建物，樹木等の管理は良好である。	・賀茂大橋の橋詰に位置し，遠方から確認することができる。叡山電鉄本線の駅が隣接していること，また近隣には京都大学や同志社大学があることから，前面通りは，学生の歩行者や自転車走行者が非常に多い。

景観重要建造物等の調査票

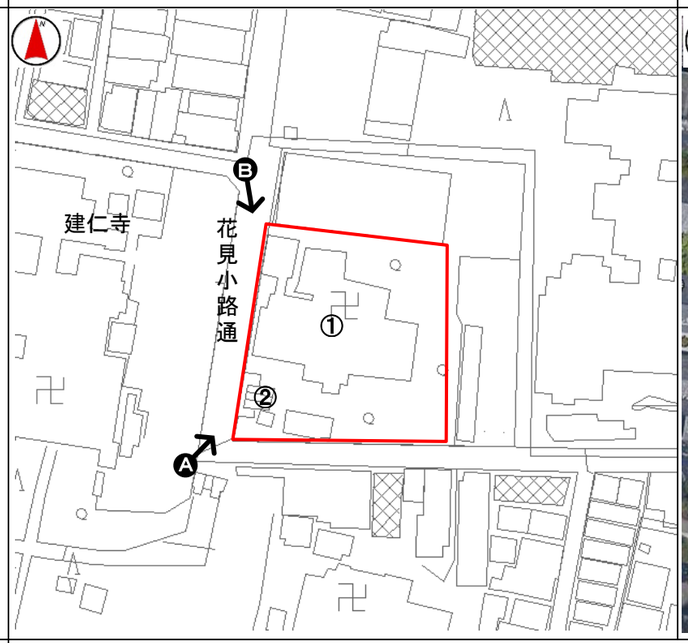
寺社 No.312（ID. 東 J029 ）	名称：大中院（だいちゅういん）	担当者：稲沢	調査日：平成 26 年 11 月 20 日

所　在　地	東山区大和大路通四条下る４丁目小松町 589	
敷地面積	2283.5　㎡	
現適用制度	用途地域	商業地域
	防火・準防火	―
	高度地区	20m 第４種高度地区
	景観計画	歴史遺産型美観地区(祇園町南歴史的景観保全修景地区-祇園町南側地
	風致地区	―
系譜，歴史性（謂れ等）	建仁寺の塔頭で，康永元年（1342 年）に東海竺源（とうかいじくげん）（1270-1344 年）を開基として創建された。応仁の乱で荒廃。承応 4 年（1655 年）にいたり雪窓霊玉（せっそうれいぎょく）が中興し，文化年中（1804-18 年）に景和竺応・全室慈保が再建した。臨済宗建仁寺派。	

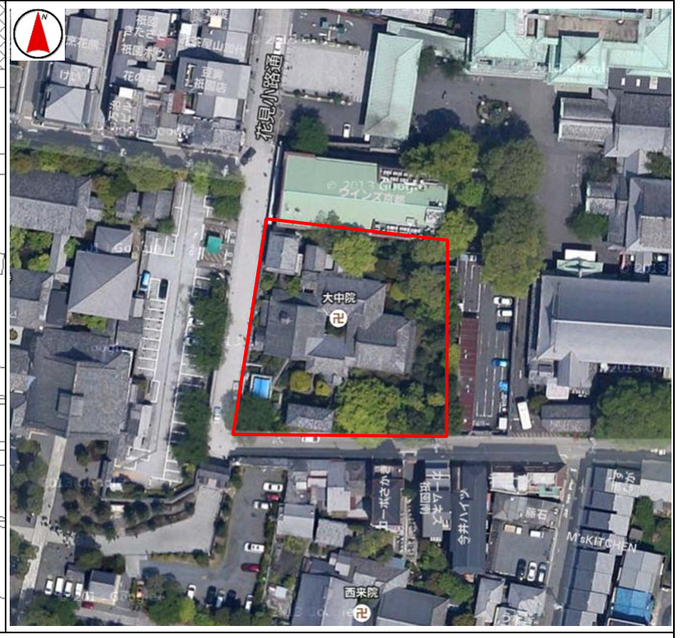
位置図（都市計画図）



平面図（写真撮影位置図）



航空写真



主な建物個々の写真（番号，用途，構造，階数）

①本堂，木造，１階

②山門，木造，１階

③

④

⑤

⑥

建物全景写真（近景，遠景（周辺の町並みを含む））

A

B

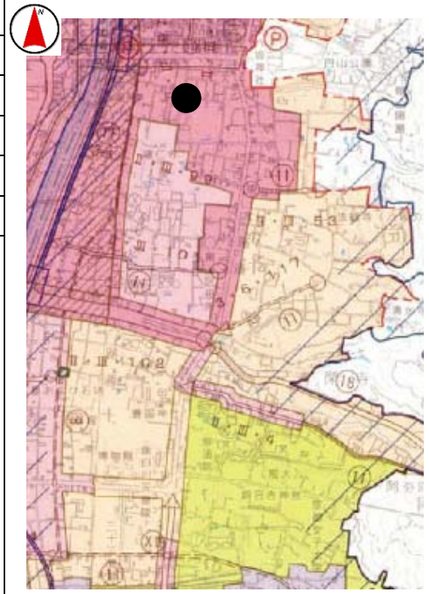
建物個々で気の付いた点	周辺の町並みとの調和の状況，その他特筆すべき事項等
屋根にやや傷みが見受けられるが，相対的に手入れが行き届いている。	・花見小路通の南端，建仁寺の北東に位置し，山門から中を垣間見る通行人（観光客）が多い。

景観重要建造物等の調査票

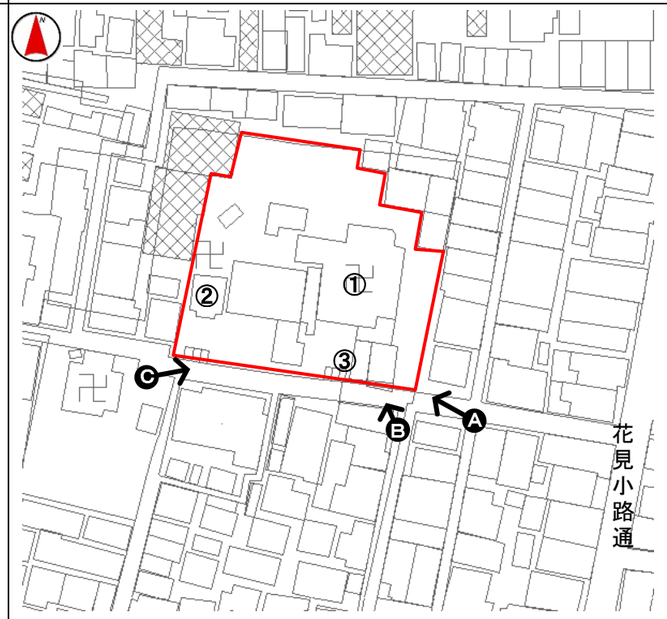
寺社 No.268（ID. 東 J055 ）	名称：常光院（じょうこういん）	担当者：稲沢	調査日：平成 26 年 11 月 20 日

所　在　地	東山区小松町	
敷地面積	2618.3　㎡	
現適用制度	用途地域	商業地域
	防火・準防火	準防火地域
	高度地区	12m 第 4 種高度地区
	景観計画	旧市街地型美観地区
	風致地区	－
系譜，歴史性（謂れ等）	建仁寺第 24 世温仲宗純禅師が開山した建仁寺の境外塔頭だが，室町時代の天文二十一年（１５５２）に焼失。 その後，江戸初期の慶長九年（１６０４）に，ねね（北政所）の兄木下家定が三江紹益に帰依し，堂宇を再興した。臨済宗建仁寺派。	

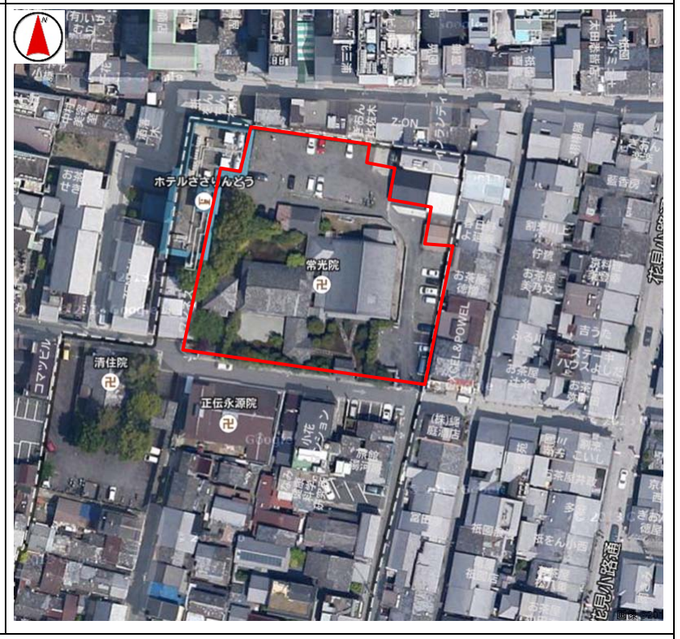
位置図（都市計画図）



平面図（写真撮影位置図）



航空写真



主な建物個々の写真（番号，用途，構造，階数）

①本堂，木造，１階

②　　，木造，１階

③山門，木造，１階

④

⑤

⑥

建物全景写真（近景，遠景（周辺の町並みを含む））

A

B

C

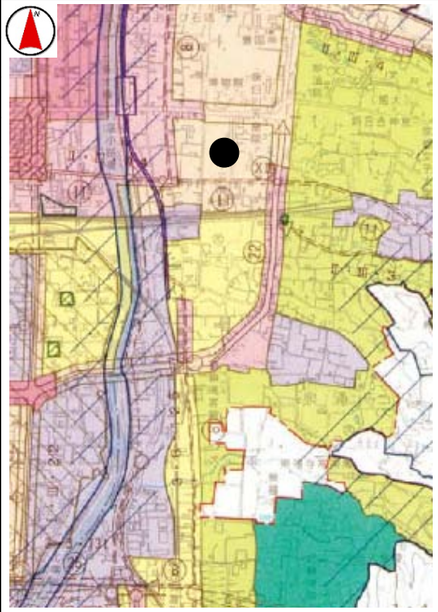
建物個々で気の付いた点	周辺の町並みとの調和の状況，その他特筆すべき事項等
	・樹木の管理は行届いており，美しい。 ・山門より東側の塀はコンクリートブロックであり，趣に欠ける。

景観重要建造物等の調査票

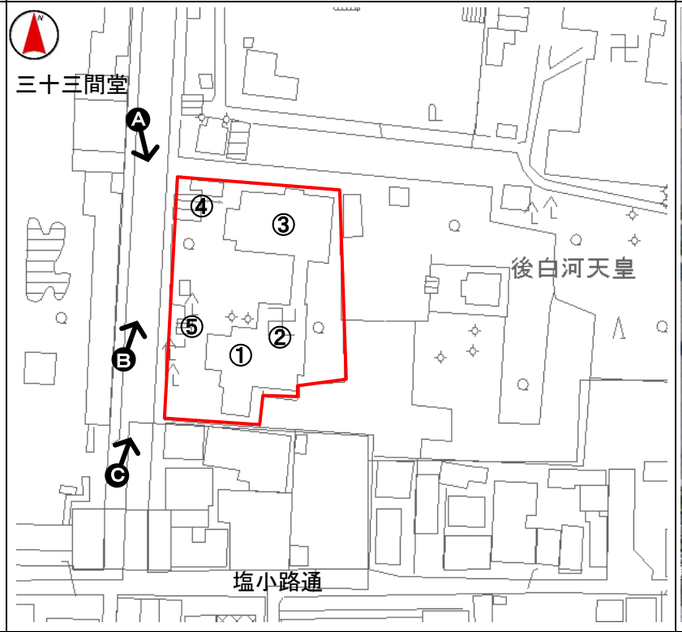
寺社 No.320（ID. 東 J048 ）	名称：法住寺（ほうじゅうじ）	担当者：稲沢	調査日：平成 26 年 12 月 10 日

所　在　地	東山区三十三間堂廻り 655	
敷地面積	2225.9　㎡	
現適用制度	用途地域	第二種住居地域
	防火・準防火	準防火地域
	高度地区	15m 第 2 種高度地区
	景観計画	―
	風致地区	風致地区第 5 種地域
系譜，歴史性（謂れ等）	三十三間堂の東隣にあり，後白河法皇ゆかりの寺として知られる。後白河天皇法住寺陵は，境内の北，東に隣接しており，近代以前は御陵を守る寺とされていた。天台宗。	

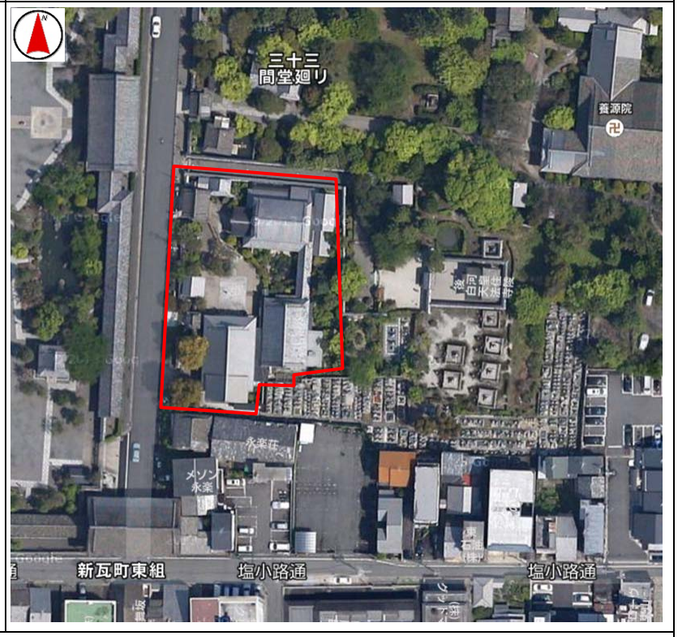
位置図（都市計画図）



平面図（写真撮影位置図）



航空写真



主な建物個々の写真（番号，用途，構造，階数）

①本堂，木造，1 階

②阿弥陀堂，木造，1 階

③　，木造，1 階

④山門，木造，1 階

⑤旧御陵正門，木造，1 階

⑥

建物全景写真（近景，遠景（周辺の町並みを含む））

A

B

C

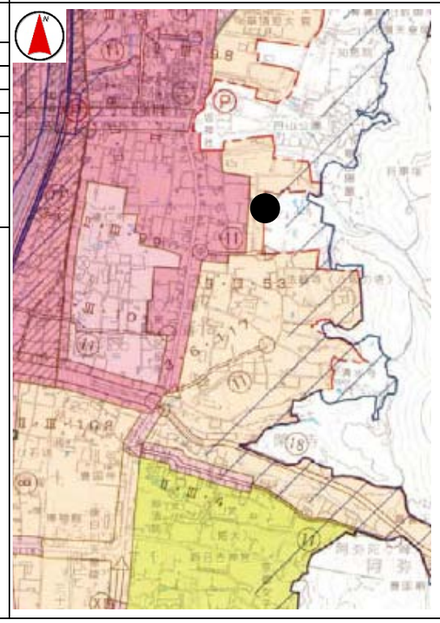
建物個々で気の付いた点	周辺の町並みとの調和の状況，その他特筆すべき事項等
	・三十三間堂の南大門を北に上がった所に立地している。 ・手入れの行届いた樹木の緑と，三十三間堂の朱色の塀との対比が美しい。

景観重要建造物等の調査票

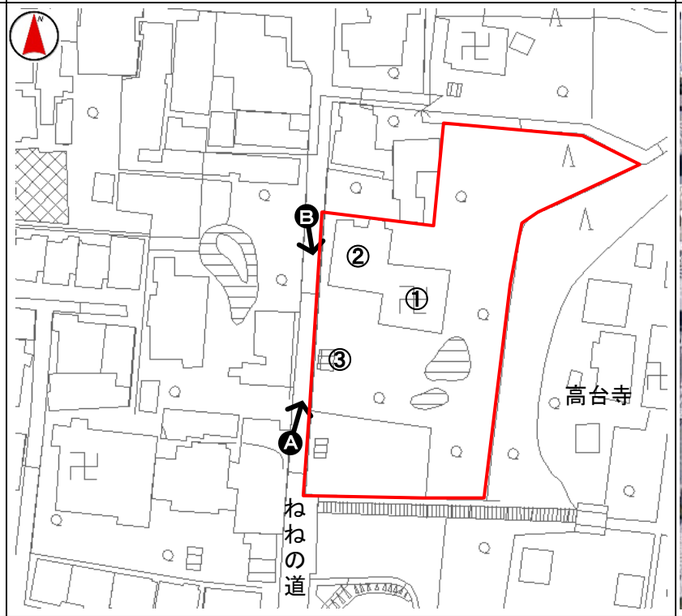
寺社 No.328（ID. 東 J034 ）	名称：月真院（げっしんいん）	担当者：稲沢	調査日：平成 26 年 12 月 5 日

所　在　地	東山区下河原町 528	
敷 地 面 積	2095.2　㎡	
現適用制度	用途地域	第二種住居地域
	防火・準防火	―
	高度地区	12m 第 2 種高度地区
	景観計画	―
	風致地区	風致地区第 3 種地域 風致地区第 1 種地域 風致地区特別修景地域（清水寺周辺） 歴史的風土特別保存地区
系譜，歴史性（謂れ等）	臨済宗建仁寺派，高台寺塔頭。亀井豊前守の保護の下に，豊臣秀吉の外戚久林が 1616（元和二）年開創。境内には織田信長の子，有楽斎が植えたとされる椿がある。幕末には，新選組から分離した伊東甲子太郎が，孝明天皇御陵衛士を組織し，屯所を月真院にかまえた。	

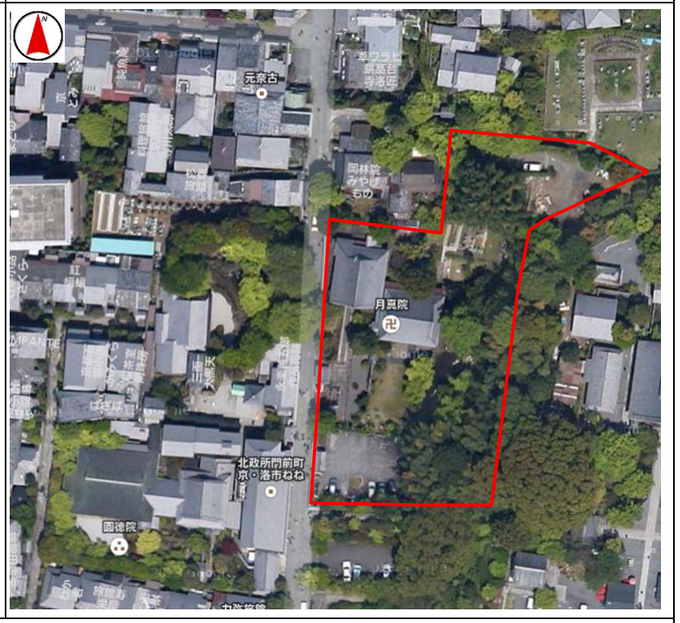
位置図（都市計画図）



平面図（写真撮影位置図）



航空写真



主な建物個々の写真（番号，用途，構造，階数）

①本堂，木造，１階

②　，木造，１階

③

④

⑤

⑥

建物全景写真（近景，遠景（周辺の町並みを含む））

A

B

建物個々で気の付いた点

塀（土塀）には，無残な落書きが多数ある。

周辺の町並みとの調和の状況，その他特筆すべき事項等

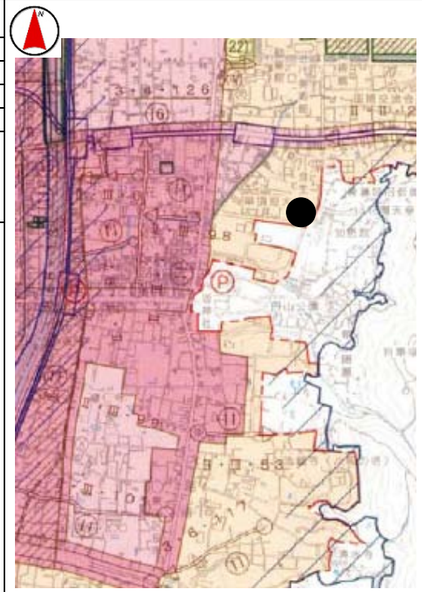
・高台寺の西，人通り（観光客）の多い「ねねの道」に面している。
・塀（土塀）の落書き傷は，遠目には目立たず石畳と調和しているが，近くで見ると痛々しい。
・山門は解放されているが，本堂付近までは立ち入れない。

景観重要建造物等の調査票

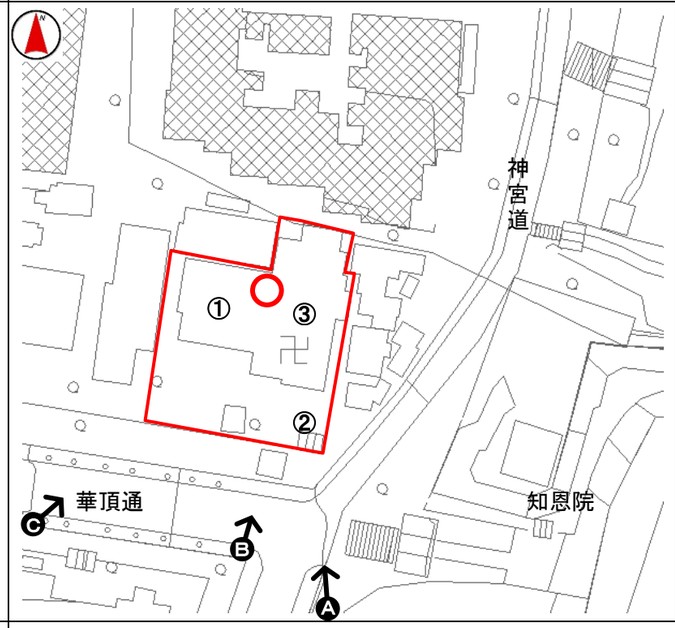
寺社 No.246（ID. 東 J053 ）	名称：良正院（りょうしょういん）	担当者：稲沢	調査日：平成 26 年 12 月 5 日

所　在　地	東山区林下 402	
敷地面積	2771.5　㎡	
現適用制度	用途地域	第二種住居地域
	防火・準防火	―
	高度地区	12m 第 2 種高度地区
	景観計画	―
	風致地区	風致地区第 3 種地域 風致地区第 5 種地域 風致地区特別修景地域（青蓮院・知恩院）
系譜，歴史性（謂れ等）	1631 年に、岡山藩主・池田忠雄が母・篤姫の菩提を弔うため建立。 知恩院塔頭の一つであり，1986 年に重要文化財に指定。 本堂はいわゆる方丈型本堂で，座敷飾りを備えた上段を設け。全体に木割も太く堂々としている。表門は本堂と同時代で，標準的な一間薬医門として価値がある。浄土宗総本山派。 http://www.weblio.jp/content/%E8%89%AF%E6%AD%A3%E9%99%A2 ・大照学園（障害者支援施設）が併設されている	

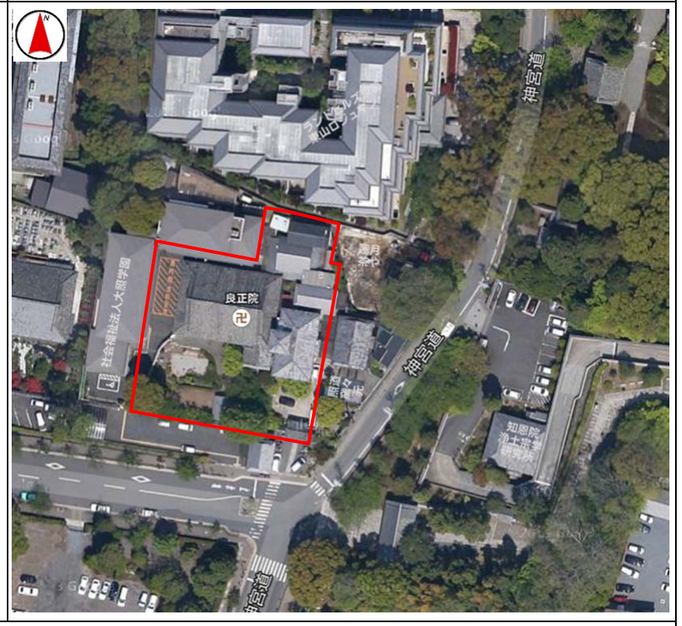
位置図（都市計画図）



平面図（写真撮影位置図）



航空写真



主な建物個々の写真（番号，用途，構造，階数）

①本堂，木造，1 階

②山門，木造，1 階

③障害者支援施設，RC，3 階

④

⑤

⑥

建物全景写真（近景，遠景（周辺の町並みを含む））

A

B

C

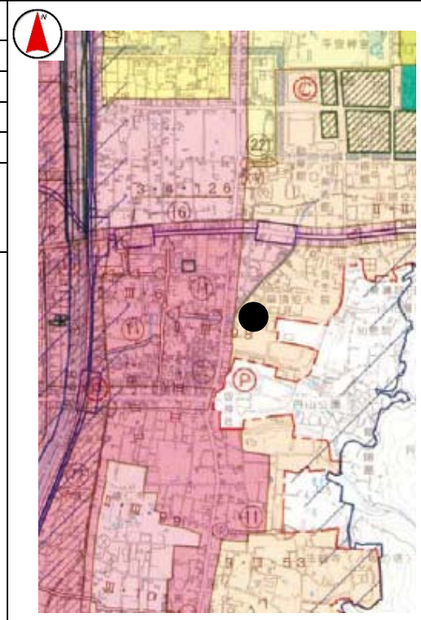
建物個々で気の付いた点	周辺の町並みとの調和の状況，その他特筆すべき事項等
・建物番号③は，大照学園（障害者支援施設）。	・神宮道を隔てて，知恩院の黒門がある。 ・通りからは大きな樹木が良く目立つが，本堂は屋根が垣間見える程度。 ・山門の前は，自動車・バイクの駐車場として使われている。

景観重要建造物等の調査票

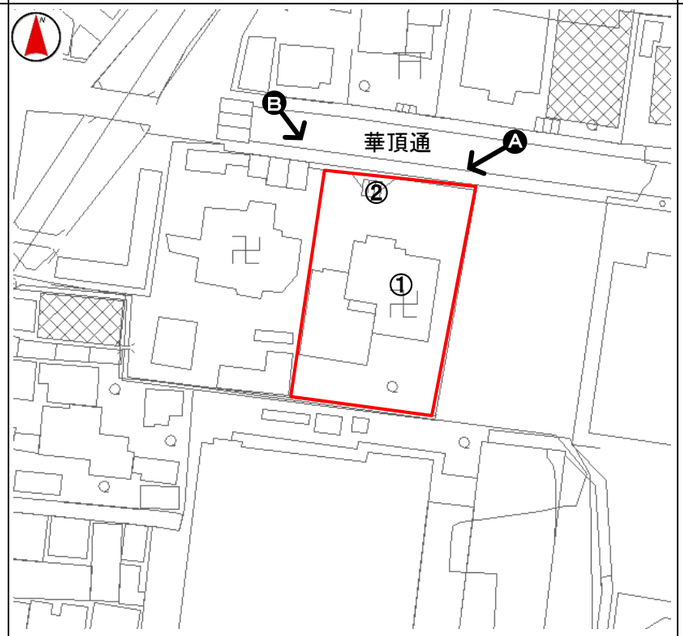
寺社 No.354（ID. 東 J040 ）	名称：入信院（にゅうしんいん）	担当者：稲沢	調査日：平成 26 年 11 月 20 日

所　在　地	東山区知恩院山内林下 409	
敷地面積	1913.0　㎡	
現適用制度	用途地域	第二種住居地域
	防火・準防火	―
	高度地区	12m 第 2 種高度地区
	景観計画	―
	風致地区	風致地区第 5 種地域 風致地区特別修景地域（青蓮院・知恩院）
系譜，歴史性（謂れ等）	浄土宗総本山派。知恩院の塔頭の一つ。	

位置図（都市計画図）



平面図（写真撮影位置図）



航空写真

主な建物個々の写真（番号，用途，構造，階数）

①本堂，木造，1 階

②山門，木造，1 階

③

④

⑤

⑥

建物全景写真（近景，遠景（周辺の町並みを含む））

A

B

建物個々で気の付いた点

周辺の町並みとの調和の状況，その他特筆すべき事項等

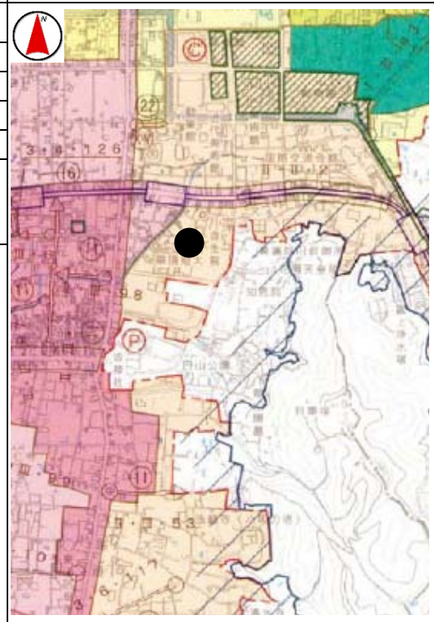
・知恩院の黒門へ通じる華頂通沿いにあって，手入れの行届いた樹木と塀は良好な景観であるが，通り（華頂通）から建物は，屋根が見える程度である。

景観重要建造物等の調査票

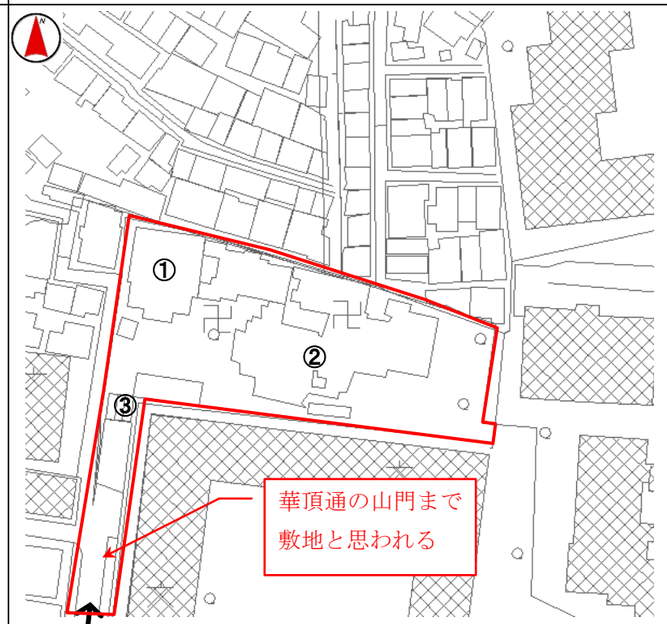
寺社 No.210（ID. 東 J041 ）	名称：得浄明院（とくじょうみょういん）	担当者：稲沢	調査日：平成 26 年 11 月 20 日

所　在　地	東山区新橋大和大路東入 3 丁林下 459	
敷地面積	3210.8　㎡	
現適用制度	用途地域	第二種住居地域
	防火・準防火	―
	高度地区	12m 第 2 種高度地区
	景観計画	―
	風致地区	風致地区第 5 種地域 風致地区特別修景地域（青蓮院・知恩院）
系譜，歴史性（謂れ等）	信州善光寺大本願の京都別院の尼寺として，明治 27 年（1894）9 月に建立された。この地はもと知恩院入道親王坐住の「華頂殿」の一部であった。 本尊仏は，信州善光寺の一光三尊阿弥陀如来の分身を安置して信州善光寺同様に戒檀巡りが出来るようになっている。 浄土宗。	

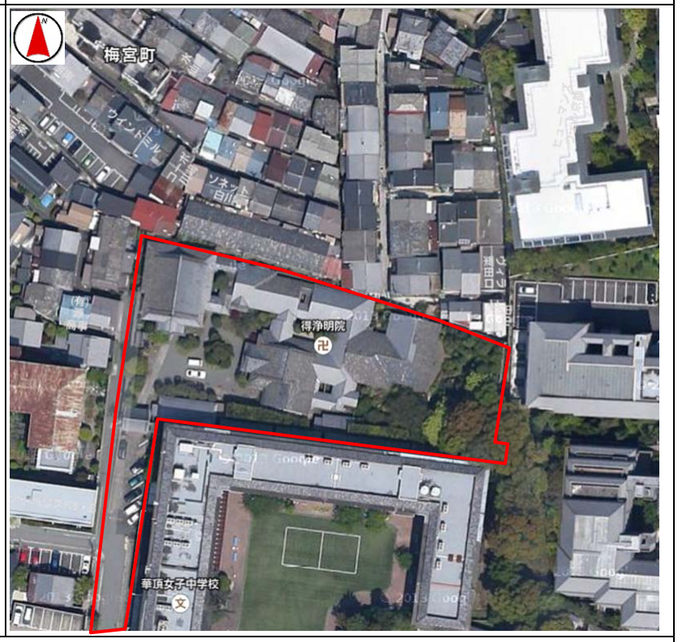
位置図（都市計画図）



平面図（写真撮影位置図）



航空写真



主な建物個々の写真（番号，用途，構造，階数）

①本堂，木造，1 階

②　，木造，1 階

③寺門，木造，1 階

④

⑤

⑥

建物全景写真（近景，遠景（周辺の町並みを含む））

A

（華頂通沿いの山門）

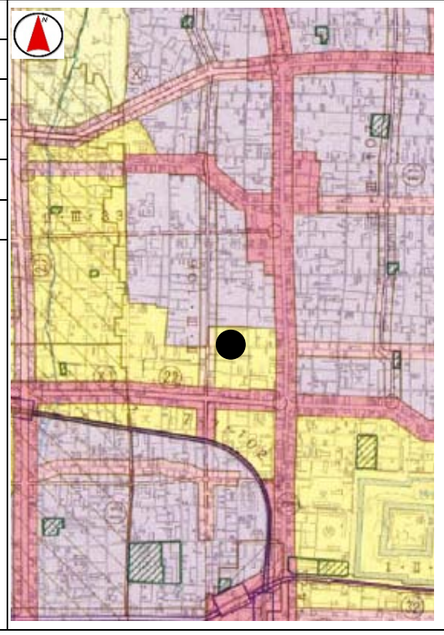
建物個々で気の付いた点	周辺の町並みとの調和の状況，その他特筆すべき事項等
	・華頂通沿いの山門から，100mほど北に上がった静かな所にある。

景観重要建造物等の調査票

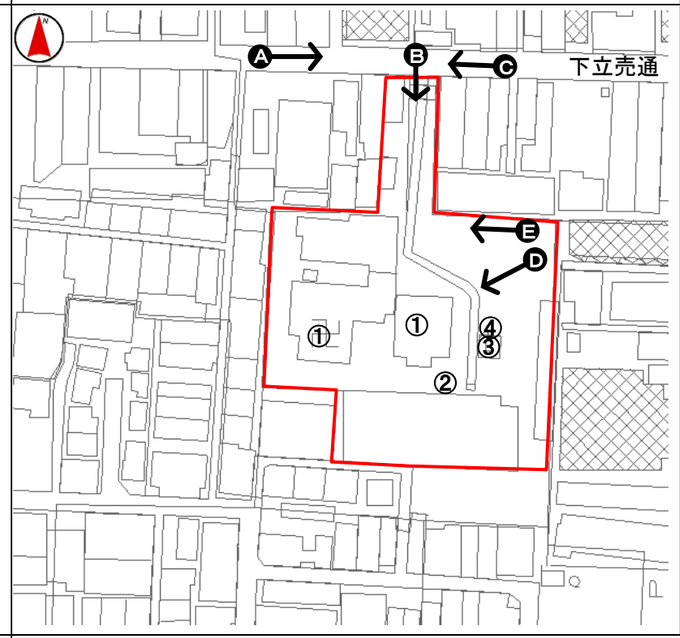
寺社 No.150（ID. 上 J057）	名称：勝巌院（しょうがんいん）	担当者：杉本	調査日：平成 26 年 11 月 14 日

所在地	上京区下立売千本西入	
敷地面積	4266.9 ㎡	
現適用制度	用途地域	第一種住居地域
	防火・準防火	準防火地域
	高度地区	15m 第 2 種高度地区
	景観計画	旧市街地型美観地区
	風致地区	―
系譜，歴史性（謂れ等）	稲葉町にあり，その町名は，安土・桃山時代，この付近に聚楽第(1587-1595)があり，武将・稲葉一鉄斎（1515-1589）の邸が置かれたことに因むという。 浄土宗，本尊は阿弥陀如来。 洛陽四十八願所地蔵めぐり(京都四十八願寺)の第 8 番札所，札所本尊は見返地蔵。 江戸時代，1606 年，鍋島氏の娘が鏡誉上人を招いて創建したという。(「蓮門精舎旧詞」)。寛文年間(1661-1673)，第 112 代・霊元天皇の命により，僧・宝山が洛外・六地蔵以外の 48 か寺の地蔵尊を選んだ洛陽四十八願所の霊場のひとつになる。 本尊の阿弥陀如来は安阿弥作という。 http://everkyoto.web.fc2.com/report1275.html より	

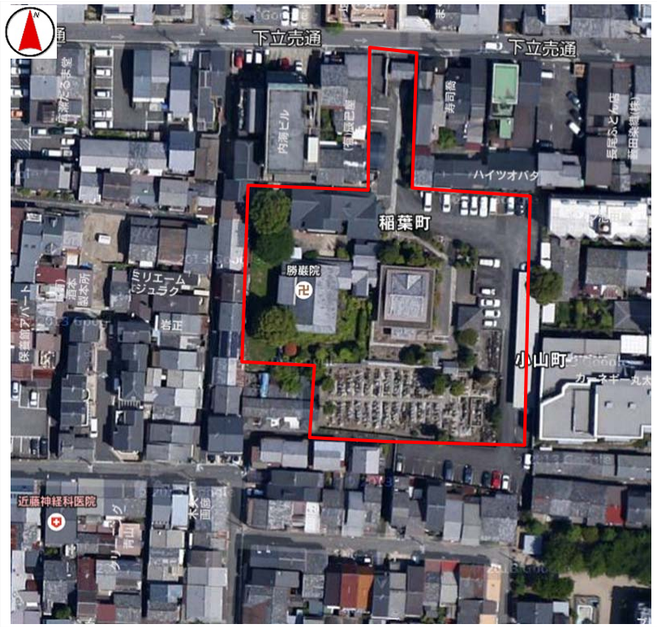
位置図（都市計画図）



平面図（写真撮影位置図）



航空写真



主な建物個々の写真（番号，用途，構造，階数）

①本堂 or 納骨堂？RC1 階

②手水舎

③地蔵堂

④鎮守社（地主神社）

⑤

⑥

建物全景写真（近景，遠景（周辺の町並みを含む））

A

B

C

D

E

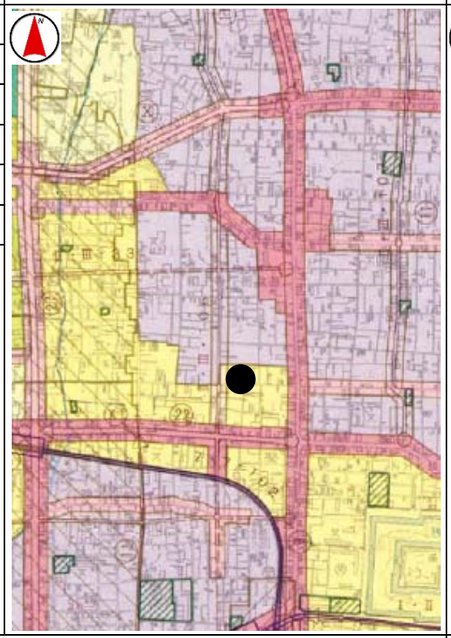
建物個々で気の付いた点	周辺の町並みとの調和の状況，その他特筆すべき事項等
①正面は納骨堂でその背後の木造建物が本堂かもしれない。敷地内では確認できなかった。建物や樹木の管理は良好。敷地東側は一部貸し駐車場になっている。	・袋小路上の敷地で，通りから細長い参道を抜けると広い敷地が広がる。通りは住商混合地区である。通りからは山門が見え，その背後の参道の奥に庫裡等の建物が見える。

景観重要建造物等の調査票

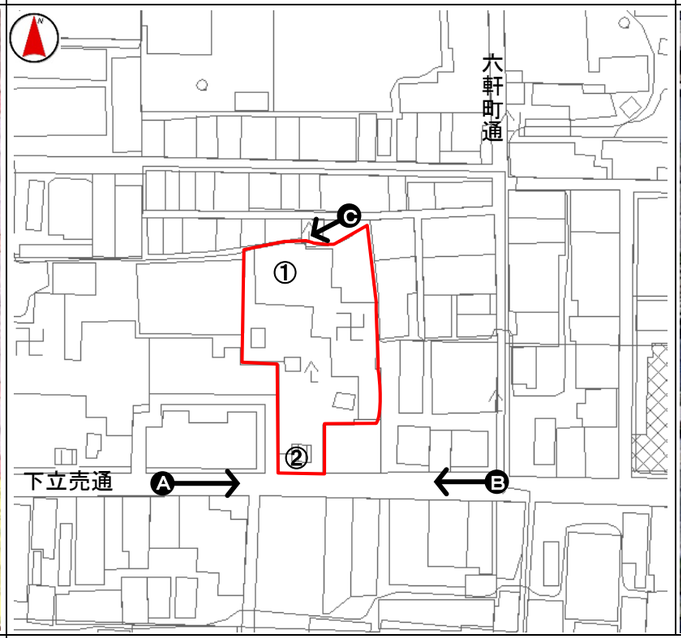
寺社 No.176（ID. 上 J069）	名称：弘誓寺（ぐぜいじ）	担当者：杉本	調査日：平成 26 年 11 月 14 日

所　在　地	上京区長門町	
敷地面積	3740.2 ㎡	
現適用制度	用途地域	第一種住居地域
	防火・準防火	準防火地域
	高度地区	15m 第 2 種高度地区
	景観計画	旧市街地型美観地区
	風致地区	―
系譜，歴史性（謂れ等）	浄土宗	

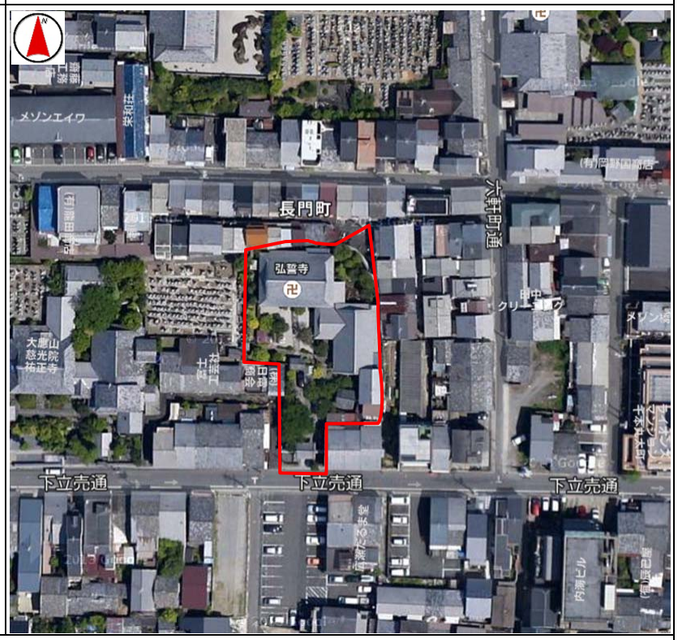
位置図（都市計画図）



平面図（写真撮影位置図）



航空写真



主な建物個々の写真（番号，用途，構造，階数）

①本堂（奥）敷地外北側より

②山門

②木村家館跡石碑

④

⑤

⑥

建物全景写真（近景，遠景（周辺の町並みを含む））

A

B

C

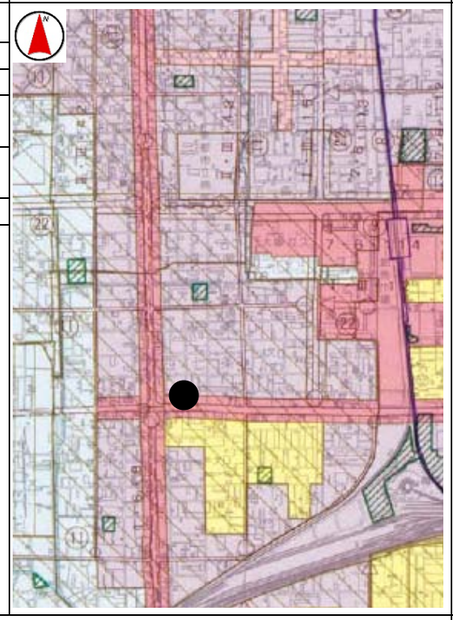
建物個々で気の付いた点	周辺の町並みとの調和の状況，その他特筆すべき事項等
敷地の全容は確認できなかった。建物や樹木の管理は良好である。北側路地①は小広場で駐輪場化している。	・通り遠方からは，寺院の存在は確認できないが，正面付近からは石垣，山門，松が確認できる。特に違和感はない。

景観重要建造物等の調査票

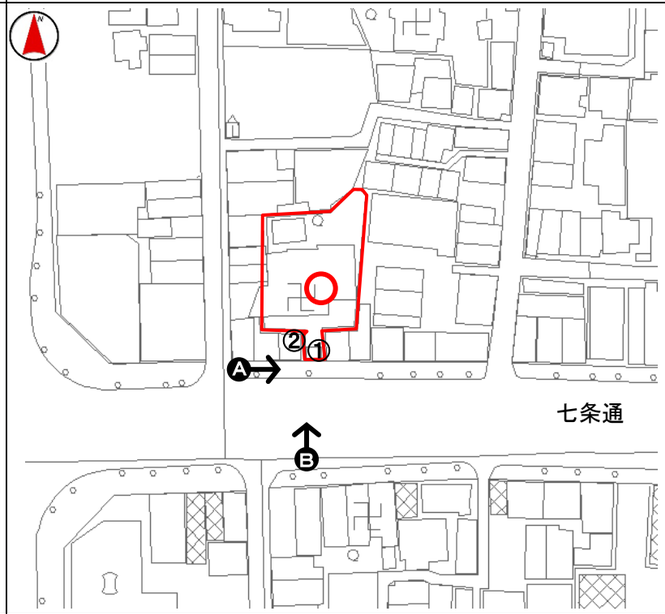
寺社 No.221（ID. 下 J022 ）	名称：光徳寺（こうとくじ）	担当者：山田	調査日：平成 26 年 12 月 8 日

所在地	下京区西七条北西野町	
敷地面積	3077.4 ㎡	
現適用制度	用途地域	商業地域・準工業地域
	防火・準防火	準防火地域
	高度地区	20m 第 4 種高度地区 20m 第 3 種高度地区
	景観計画	沿道型美観形成地区(幹線地区) 市街地型美観形成地区
	風致地区	－
系譜，歴史性（謂れ等）	浄土宗	

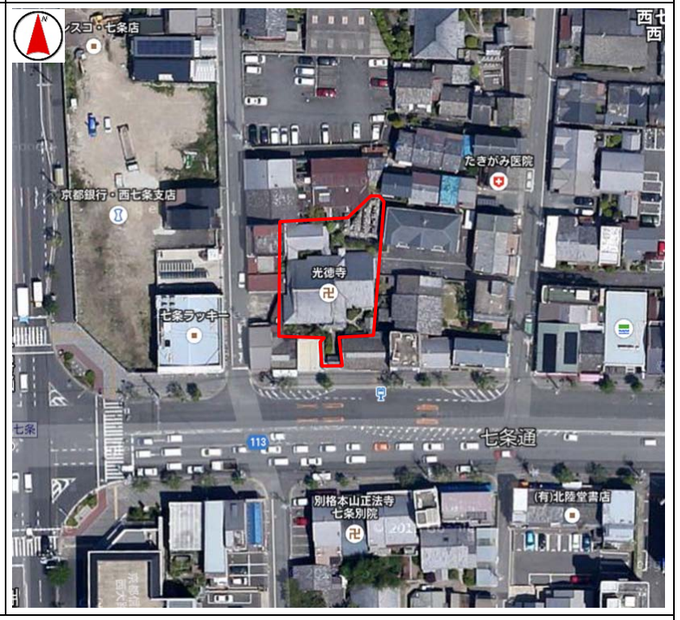
位置図（都市計画図）



平面図（写真撮影位置図）



航空写真



主な建物個々の写真（番号，用途，構造，階数）

①表門，木造，１階

②駐車場

③

④

⑤

⑥

建物全景写真（近景，遠景（周辺の町並みを含む））

A

B

建物個々で気の付いた点	周辺の町並みとの調和の状況，その他特筆すべき事項等
・建物，塀，樹木は、きれいに管理されている。	・一部駐車場として土地利用を行っているが，表門が見える位置から，寺院の重厚な趣を感じとることが出来る。 ・敷地内に緑も多く，表門が町並みと調和している。